



交通安全ニュース



飲酒運転による

惨死

被害は既に3人!!

※「飲酒運転」とは、第1当事者が酒酔い運転、政令数値以上の酒気帯び運転の事故

京都府内では、飲酒運転による交通死亡事故が3年連続3件発生しており、今年も既に3件発生、3人（3月末現在）の方が亡くなっています。

飲酒運転による死亡事故は、前年を大きく上回って発生しているのです！

許すまじ！飲酒運転

平成30年中、政令数値以上の飲酒運転者による交通事故は、

発生件数 34件	(前年対比-5)
46人負傷	(前年対比±0)
内 10人重傷	(〃)
3人死亡	(〃)

で、政令数値以下の飲酒ありと判断された飲酒運転者を含めると、

発生件数 55件	(前年対比-2)
70人負傷	(前年対比+1)
内 20人重傷	(前年対比+5)
3人死亡	(前年対比-1)

でした。

飲酒後の脳に判断させてはダメ！

酔い=脳の麻痺



アルコール摂取後、脳の麻痺が最初に起こるのは、**大脳新皮質**（理性を司る器官）です。だから、

飲酒後に正しい判断は、決してできないのです！



「軽く1杯」の運転者が多くいるってことだね！

飲み会等で盛り上がっても、飲酒運転は絶対に許してはいけません！
お酒を飲む時は節度を守って、スマートに！

仲間を守るために
ストップ！

一緒に
タクシー等で
帰りましょう。

飲んだら乗らない！乗らせない！



家族を守るために
ストップ！

飲みに行くなら、
公共交通機関で！



春の行楽期突入です。
盛り上がる気持ちで、理性という籠が外れないよう、
自他ともに注意しましょう。



自転車も、「飲んだら、乗るな」